

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社Inspire High

【サービス名称】

Inspire High

【サービスの支援項目】

カテゴリーⅠ 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



<サービスの概要・特徴>

- ・世界とつながる探究的な学びを手軽に教室で実践できるプログラム。
- ・ICTを活用し教員の負荷を抑え、手軽に探究的な学びを実現可能。
- ・探究学習・道徳・キャリア教育・教科の学びと、幅広い授業で活用できる。

Session



多様な大人の生き方・仕事・価値観に触れ、自分を知る

Project



「自分だけの問い」を深める個人探究を動画とデジタルでサポート

Inspired 100



全国から集まった100の”自分にまっすぐな問い”を表彰

3つの機能に共通する特徴

- ・生徒は学校外の10代の考えに触れることができる。
- ・先生の授業の準備負荷が少ない。

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

<導入によるメリット、類似サービスとの違い等>

- ・世界中の多様な約60人の大人の生き方や価値観に触れ、生徒が自ら問いを見つけるきっかけ作りができる。
- ・全国の10代とフィードバックを送り合える仕組みにより、自己理解を深め、他者を知る心を育む。
- ・探究のステップごとの考え方や手法のレクチャー動画により、先生の負担を抑えて探究学習を実施できる。
- ・探究・道徳だけでなく、教科を含めどの授業でも活用可能。先生の負担を軽減しながらも、柔軟にカリキュラムを組み立てられる。

<学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果>

Inspire Highを体験した生徒のうち、「Inspire Highは自分のやりたいことや価値観をつくるのに役立つと思いますか?」という問いに対し、88.1%の生徒が肯定的に回答。(「役立つと思う(38.4%)」「少し役立つと思う(49.7%)」「あまり役立たないと思う(8.6%)」「役立たないと思う(3.3%)」)

<サービスの活用場面>

探究学習やキャリア教育、道徳、教科学習の動機づけなど、幅広いシーンで活用可能。

<1サービスあたりの標準販売価>

導入学年数やコース数によって変動いたします。詳細はお問い合わせください。< school@inspirehigh.com >

<サポート内容>

1. カリキュラムや授業計画のご提案

学校ごとの探究学習のねらいや目的にあった授業計画をご提案

2. 授業準備のサポート

事前準備から開始に向けた操作レクチャーや研修会を実施

3. 授業実施のサポート

オリエンテーション授業や、活用状況の振り返りをサポート

活用シーン例



■ 学校等教育機関の課題と解決策

探究学習では、生徒の問いが深まりにくいことに加え、教員の準備・指導負担や専門性への不安、学校全体で探究を推進する体制が不十分といった課題がある。本サービス (Inspire High) は、多様な価値観に触れながら生徒一人ひとりが問いを深められる機会を提供するとともに、動画・ICTを活用して教員負担を軽減し、学校全体で一貫した探究の質向上を支援する。

児童生徒・教職員が抱える課題

■ 生徒の探究が深まりにくい

- ・生徒のテーマ設定をサポートするのが難しい
- ・生徒の問いが深まらず、探究のサイクルが回せない
- ・生徒の視野を広げる機会を十分につくれていない
- ・「調べてまとめる」以上に発展させるのが難しい

■ 教員の指導負担・専門性への不安

- ・教員の準備や指導の負担が大きい
- ・成果物 (スライドやポスター) の指導に負担を感じる
- ・教員として探究の進め方に自信が持てない
- ・探究と教科の接続が難しい

■ 学校全体で探究を推進する体制が不十分

- ・探究に対する先生ごとの温度差・意識の違いが大きい
- ・教員ごとに指導方法が異なり、質にばらつきがある
- ・教員全体で探究のサイクルを体系的に教えられていない
- ・学校全体として探究の質を高める仕組みが不足している
- ・外部の知見やリソースを取り入れる仕組みが不十分

サービスが果たす役割

■ 多様な視点に触れ、一人ひとりが自身の問いを深められる

- ・世界中で活躍する多様な大人の生き方や価値観、仕事に触れ、答えのない問いに向き合うことで、自己理解が深まり、問いを見つけるきっかけを提供。
- ・全国の10代の意見や問い、探究の成果に触れ、意見をシェアし合うことで、考えを深めることにつながる。
- ・問いの設定から振り返りまで、探究のプロセスを体系的に学び、基礎を育むことができる。

■ 動画・ICTを活用し、教員の準備・指導負担を軽減

- ・探究の説明負担を軽減する13本の動画により、先生の負担を抑えて探究学習を実践可能。
- ・生徒が進めた探究の内容が、自動的にスライド形式でアウトプットされる機能により、成果物の作成・発表が手軽に実現できる。

■ 学校全体で一貫した探究の進め方と、質の底上げを実現

- ・体系化した探究プログラムの基盤があることで、学校全体でどの教員が授業を担当しても一貫したカリキュラムを実現。
- ・動画内ファシリテーションにより、教員が探究の伴走者に徹することができる。

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

活用事例:和泉市立槇尾学園 - 8年生(中学2年生)の事例

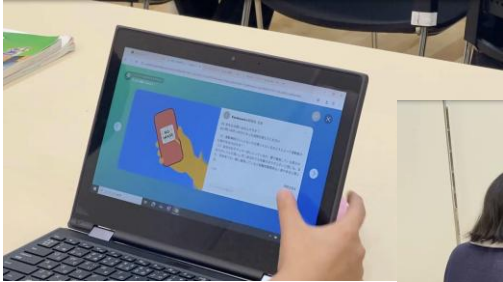
授業のねらい:大人や同年代の考えに触れ視野を広げ、生徒が自身の興味関心を元に「問い」を立てる。総合的な学習の時間だけでなく、教科で探究サイクルを回すことに繋げる。

▼授業の流れ(当日)

- 1. 「タレント 田村淳と考える、学んで大事なこと?」のセッションを活用し、田村さんの「問い」と、原体験に触れる
 - 2. 「自分だけの問いと、そのきっかけ」について、深く考えアウトプット。自身の経験を元に、もっと知りたいと思う「問い」を考える。
- さらに、全国の10代の投稿にフィードバックを送る中で新たな気づきを得て、自己理解を深める。

▼その後の授業

- 3. 社会科の授業の中でプロジェクトを活用し、地理的分野「日本の特色」の単元で生徒一人ひとりが問いを設定し、探究サイクルを回す。



なぜ工業地域・地帯は海辺なのか?
プロジェクト開始日: 2025/07/03

日本の電力はなぜ火力発電が多いのか?
プロジェクト開始日: 2025/07/11

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	3	学校等教育機関数	30校
--------	---	----------	-----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	松本市教育委員会	松本市立鎌田中学校 他18校	長野県	中学校	1~3	総合的な学習の時間、道徳など
2	和泉市教育委員会	和泉市立和泉中学校 他9校	大阪府	中学校	1~3	総合的な学習の時間、道徳など
3	鎌倉市教育委員会	鎌倉市立由比ガ浜中学校	神奈川県	中学校	1~3	総合的な学習の時間、道徳など

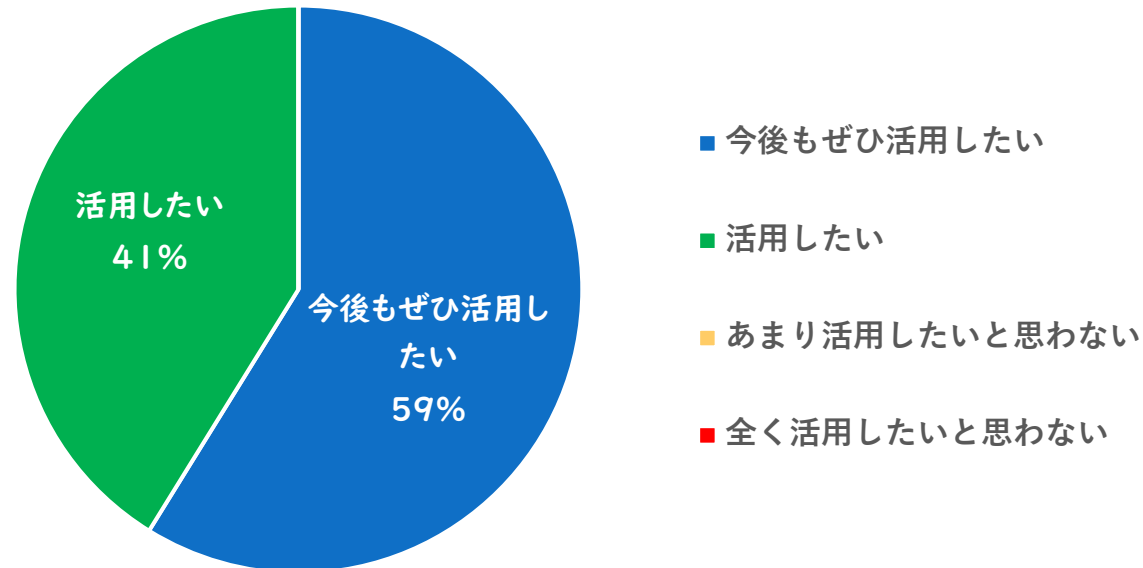
定量的効果検証

導入校の教員に満足度調査を実施（回答総数34人）

「次年度以降もInspire Highを活用したいと思いますか」という質問では、次年度以降も活用したいという回答が100%であった。

※「今後もぜひ活用したい」59% / 「活用したい」41%

次年度以降もInspire Highを活用したいと思いますか

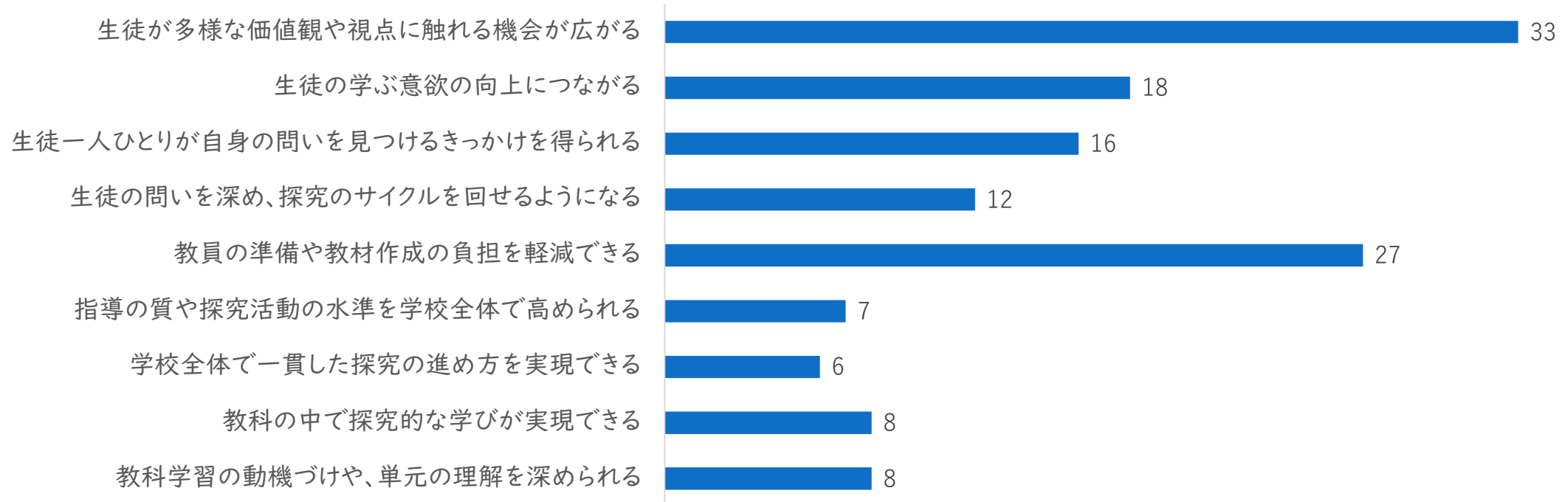


定量的効果検証

「Inspire Highの活用によって、どのような点が期待できるか」という質問に対し、「生徒が多様な価値観や視点に触れる機会が広がる」「教員の準備や教材作成の負担を軽減できる」「生徒の学ぶ意欲の向上につながる」と回答した教員が多い結果となった。

(回答総数34人)

Inspire Highの活用によって、どのような点が期待できますか？



■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

■満足度調査より定性的な評価コメントを一部抜粋

教員の負担軽減の観点

- ・とても画期的だと思いました。**教員の負担はかなり少なく、狙いもはっきりとした授業で、メリハリある授業が流れていきます。メインの流れを任せられるので、担任は個別指導に回ることができ、全員が授業に参加できていると感じます。**
- ・教師の準備はほぼないのに、一人一人が考えを深めたり、他者の考えにふれることができる。
- ・ガイドが多種にわたっているため、さまざまな場面での活用が検討できそう。**授業自体もファシリテーターが進めてくれるおかげで教員の準備の負担が少なく大変ありがたい。**

生徒の学びの観点

- ・多様な生き方に触れることができるだけでなく、**同年代の考え方に触れ、コミュニケーションをとることができるため、学びが深まっている**と感じる。
- ・人の生き方や考え方に直に触れることで自分事として捉えたり、深く思考していくことができる一面がある。また、フィードバックでは、普段接するクラスメートとはまた違った考えに触れることで、**より多面的な見方ができる**可能性がある。

◎総論

動画とデジタルの力で、探究学習における教員の準備負担を抑えた探究学習の実践が可能となっている。
また、多様な価値観や同年代の考えに触れる機会が生まれ、生徒の思考が深まり、学びの質向上と働き方改革の双方に効果を発揮していると言える。

生徒の声

- ・Inspire Highではクラスメイトと考えを共有するだけでなく、全国の学生とも考えを共有することができ、自分とは異なる考えを持っている人の意見や考えをより多く知ることができて、楽しかったです。
- ・やってみると結構楽しくて、色々な人の意見や、遠くにいて顔も知らないような人の意見も見れて、次の時間も楽しみだと思えました。
- ・自分は義務だと思ってみんなが同じものを勉強すると思っていたけど、ガイドの人の話を聞いて自分自身の生き方や目標に向かって自由に勉強することによって、いろいろな視点が見つかったりすることがわかりました。

教員の声

- ・これまでは、視野を広げるために外部講師を招いて講演会を行うことでしか体験できなかった「触れる」という経験を手軽にできて非常にありがたい。また、フィードバックによって多くの考え方や価値観に触れることに価値を感じます。
- ・いざ「探究」となっても、問いの立て方やリサーチの方法が分からなかったりする中で、プロジェクトをやっていけば、探究のサイクルを回していけるのが良い。
- ・ガイド自身の体験を聞く場面で、生徒自身が考えもしなかったような体験を聞くことで驚きの表情を浮かべている生徒がたくさんいたことが印象的だった。
- ・素晴らしい学習方法の一つです。生徒が安心して、自分の意見を伝えることができる場を提供してもらえて、今後もぜひ使用したいです。
- ・生徒が普段接することができない方の話を聞くことができ、YouTubeなどで投稿されているものではなく、ある程度教育向けに編集されている点が良い。教材準備の圧倒的負担減。

■ 探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

導入初期のカリキュラム設計のすり合わせや、実施段階での学習進度差への対応、さらに実践を重ねる中で教員間の活用差や高度な個別支援ニーズが課題として顕在化した。これらに対し、年度当初からの横断的なカリキュラムマネジメントの強化や個別最適な活用支援、実践共有と伴走支援を通じた継続的な改善を進める。

直面した課題

■ 導入時の課題

- ・導入初期に、探究の到達目標と、それに応じた年間カリキュラムや授業実施のすり合わせに想定以上に時間を要した。
- ・学校・教員ごとにICT活用経験や探究学習の理解度に差があり、サービスの活用イメージが十分に共有されないケースがあった。

■ 実施していく中での課題

- ・探究の進度に個人差が生まれ、授業内での時間配分や進め方が難しくなるケースが見られた。

■ 実施した結果、新たに顕在化した課題

- ・探究が進む中で、生徒ごとの個別の問いをより高度に深めていくための、追加支援ニーズが顕在化した。
- ・教員間での活用の差が浮き彫りになり、校内での実践共有やノウハウ蓄積の重要性が高まった。

解決するための改善策

■ 導入時の課題に対して

- ・既存の授業計画や、年間の行事などを含めた、より横断的なカリキュラムマネジメントを、年度当初にすり合わせていく。
- また、1学年単位ではなく、3学年単位で捉えた学びのプロセスを、学校のねらいに合わせて体系化していく必要がある。

■ 実施していく中での課題に対して

- ・より個別最適な探究学習を促進するため、放課後などの時間も含めて生徒一人ひとりが主体的に探究を進められるような活用案内を行う。

■ 実施した結果、新たに顕在化した課題に対して

- ・探究が発展する中で、より教員のフェーズごとの伴走方法について補助できるような、サポート資料や研修などの工夫が必要。
- ・学校・教員間での好事例を気軽に横展開できるようなナレッジ共有を強化。

■会社概要

社名	株式会社Inspire High
代表	杉浦 太一
設立年月	2019年11月
本社	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3
資本金等	非公開
売上高等	非公開
従業員数	43人(2025年11月時点)
事業内容	「世界中の10代をインスパイアする」をミッションに掲げ、世界とつながる探究的な学びを手軽に教室で実践できるプログラム「Inspire High」を開発・提供。主に中学校・高校での探究学習や道徳、キャリア教育などに幅広く活用されている。

■お問い合わせ窓口

担当:溝口 りりか

電話:080-7023-4892

Mail: info@inspirehigh.com